

平成29年度 学校運営協議会推進委員

	名前	役職	代表種別
1	本宮 武彦	荒屋コミュニティセンター長	地域
2	立花 徳彦	細野コミュニティセンター長	地域
3	藤村 光男	畑コミュニティセンター長	地域
4	小笠原 日出夫	五日市コミュニティセンター長	地域
5	佐藤 三郎	浅沢コミュニティセンター長	地域
6	荒川 孝之	安代実践区教振推進委員会長	地域
7	立花 義弘	安代地区民生児童委員協議会長	地域
8	畠山 桂子	安代地区主任児童委員	地域
9	小山田 拓史	安代小学校 PTA 会長	保護者
10	小山田 孝	安代小学校校長	学校
11	田村 敦子	安代小学校副校長	学校
12	島田 欽一	安代小学校地域窓口教員	学校

※平成29年度 コミュニティ・スクール導入にご協力いただいた皆さん

平成30年度 学校運営協議会員

	協議会役職	役職	代表種別
1	会長	荒屋コミュニティセンター長	地域
2		細野コミュニティセンター長	地域
3		畑コミュニティセンター長	地域
4		五日市コミュニティセンター長	地域
5		浅沢コミュニティセンター長	地域
6	副会長	安代実践区教振推進委員会長	地域
7		安代地区民生児童委員協議会長	地域
8		安代地区主任児童委員	地域
9	副会長	安代小学校 PTA 会長	保護者
10		安代小学校 PTA 副会長	保護者
11		安代小学校 PTA 副会長	保護者
12		安代小学校校長	学校
13		安代小学校副校長	学校
14		安代小学校地域窓口教員	学校
15	事務局	安代小学校 CS ディレクター	学校

※今後コミュニティ・スクールを支えてくださる皆さん

安代小学校 コミュニティ・スクール へのあゆみ



平成29年度 八幡平市立安代小学校
コミュニティ・スクール導入事業

コミュニティ・スクールとは、「学校運営協議会」を設置している学校を指します。

【地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5】 H16 制定

教育委員会が、学校や地域の実情に応じて学校運営協議会を置く学校を指定

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること（必須）
- 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べることができること
- 教職員の任用に関して、教育委員会に意見を述べることができること



第1回学校運営協議会推進委員会

説明

- 「コミュニティ・スクール」の概要
- 「コミュニティ・スクール」導入事業について
- 安代小学校「コミュニティ・スクール」構想について
- 安代小学校運営協議会推進委員会について

協議内容

- 安代小学校「コミュニティ・スクール」構想について
 - 質問) CSに関する教育委員会の意向は？
 - 回答) 今年度より安代小と寄木小が取り組んでいる。数年後には、全小中学校での実施を見込んでいる。この実践がモデルとなると思う。
 - 意見) CSとなることで、小中一貫教育も視野に入れ、9年間で子供を育てられる。
 - 意見) 地域の現状は、老人福祉に重点を置いているが、次世代を担う子供たちに目を向けたこの取組はすばらしい。積極的に推進に協力したい。
 - 意見) 子供たちに還元されるCSの取組は良いと思う。
 - 意見) 学校、家庭、地域をまとめ上げていくための方法、手段を探っていきたい。
- 平成29年度学校経営方針（まなびフェスト）について
 - 意見) 子供たちのあいさつはだんだんよくなってきた。ただ、防犯の方面から考えると、「誰にでも」には抵抗感がある。学校の来客へあいさつができるようにという範囲でよいのではないか。
 - 意見) 自分で考え、工夫しながら遊ぶ子供たちになってほしい。
 - 意見) 体を使った遊びをすすめてもらいたい。
 - 意見) 「家庭」の重点取組は、保護者の意見を聞いて打ち出せばよいと思う。
 - 意見) 家庭と学校を結ぶ「まなびフェスト」の取組に、地域も絡ませていくことができるCSの取組を広めていきたい。
- その他
 - 意見) スクールバスの停留所の変更は、交通安全母の会への連絡もした方がよい。また、家の前での乗り降りではなく、道路を渡る経験や歩く経験も必要だと思う。



CSマイスター講演会 「コミュニティ・スクールの目指す姿」

講師：野澤 令照 氏（CSマイスター 宮城教育大学特任教授）



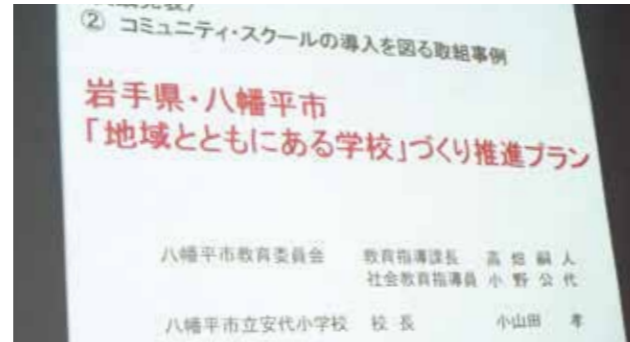
CSは「あせらず 無理せず 楽しんで！」

第2回学校運営協議会推進委員会

第2回学校運営協議会は、講師の野澤先生と安代小学校運営協議会推進委員会のメンバーが講演会後に懇談をしました。その中から、野澤先生のお話を抜粋して紹介します。

- （いじめを減らすためには）学校・地域が楽しいと思えるようにしていくことが大切。楽しいことがあると、相手をいじめる暇がなくなる。楽しいことをたくさん作っていくことで、マイナスからプラスを目指す。そうしていくといつの間にか（いじめが）0に近づく。
団地に住んでいる住人同士で「おやじの会」を作って、遊ぶ取組をした。当然、子供同士が集まるとうるさくなる。自分の子供でなくても「うるさい！」と一喝する。（そうすると）誰から言われても自然と言うことを聞くようになる。悪いことは叱る。そうやって地域で見守ることが大切。
- 今の親は自分の子供が100%。子供から聞いたことで親同士喧嘩し合っている。以前、「担任はだめだ」と子供に言い続けた親がいた。直接、先生に言うのはいいんです。しかし、子供に先生の悪口を言うのは、子供にとって良いことではない。

「地域とともにある学校づくり」推進フォーラム



期日：平成29年11月7日（火）

場所：アイーナ（いわて県民情報交流センター）

▼平成29年11月8日（水）岩手日報掲載記事

【発表内容抜粋：CS アンケート結果】

目指す子供の姿

- 強くたくましい子 ● 視野の広い子
- 他人を思いやる子
- 自信をもっていきいける子
- 正直でまっすぐな子
- 安代に戻ってできることを考えてくれる子
- 地域の方とふれあえる子
- 素直にありがたうと言える子
- 元気にあいさつができる子
- 何事にもチャレンジできる子 ● いろいろ選択肢を見出して生きていける子
- のびのび育ってほしい ● 積極性、社会性のある子
- 地域のありがたみを感じられる子 ● 心のしなやかさをもって生き抜く子
- 自他を尊重して関わり合って社会を作れる子



第3回学校運営協議会推進委員会

フォーラム終了後、推進委員の皆様から感想をいただきました。主な感想です。

- みんなで子供たちに関われば自分たちに返ってくる。みんなが幸せになれる。お互い負担にならないように、楽しく無理せずに関わっていきたい。
- CSを地域の活力としていきたい。子供たちは郷土愛をベースとしてがんばっていける。
- コミュニティ・センターも（学校と）一緒に活動していけば地域の活性化につながる。
- 老人も巻き込んで地域の人に理解してもらおうと、地域作りの手段にも使える。

第4回学校運営協議会推進委員会

協議内容

- CS アンケート結果について
 - 説明) CS アンケートでは、肯定的な回答をいただいているが、保護者の中で不安をもっている方が若干多くみられる。
 - 意見) 今後、教振運動等をやっていけば大丈夫。今日の発表にもあったが、地域の行事に参加していけば理解が進み、不安もなくなっていくのではないかな。
- 「まなびフェスト」アンケート結果について
 - 説明) どの項目も高い評価をいただいているが、1学期から2学期にかけて、保護者、学校教職員の評価が高まっているのに対して、子供自身の評価が伸び悩んでいる。（その他、保健・学力等について説明）
 - 意見) 良い結果が出ていると思う。子供たちは、良くなろうと学校生活を送ったが、考えていたよりはできなかった。そういった反省から、（自分のことを）再確認していることが表れているのではないかな。保護者も頑張っている。応援の意味を感じた。自分たちの行動を謙虚に考え、目標に近づけようとしている。
 - （身体測定結果について）
 - 意見) 児童の体格について、どこまで進めていったらいいか？スポ少に入っているからといって体格がいいとは限らない。
 - 意見) 昼はカロリー計算された給食を食べているが、家庭ではどうか。学校だけの問題としないで家庭とも連携していかなければならない。CSとしてやる意味もある。学校、地域、保護者みんなでやらなければならない。
- 平成30年度安代小学校運営協議会体制について
 - 説明) 平成30年度より、CS設置は努力義務となることから、安代小学校では来年度から正式にコミュニティ・スクールとする。それに伴って、推進委員の方々に出されていた謝礼もなくなる。
 - 次の第5回の学校運営協議会推進委員会において、次年度の学校運営協議会メンバーを確定していきたいと考えている。
 - 質問) 委員の人数は？
 - 説明) 規約に規定していかなければならない。そこも含めて検討する。
 - 質問) 人で選ぶのか、役職で選ぶのか？
 - 説明) 地域との連携をしていく協議会とすれば、役職で選んでいきたい。



第5回学校運営協議会推進委員会

協議内容

●平成30年度安代小学校経営方針について

（平成30年度経営方針 経営の重点 校務分掌 まなびフェストについて説明）
意見）良い組み立てだと思う。今後も集中力をもって前向きに挑戦することが大事。そのためは、子供たちが能力を生かす場面が必要。周りの大人が行動をほめ、自信をもたせる地域環境を作る必要がある。

意見）（「たくましい子」に関して）安代小は、陸上競技会において好成績を残しているが、三ヶ田杯はそれほどではない。冬のスポーツに関してはこ入れが必要。

意見）スポ少加入率が、安代小は約半分。これは他の学校に比べて高い比率であり、この特徴を生かして、さらに底辺拡大をしていけばいいのではないか。

意見）（地域での協力の仕方について）最近ではコミセン（コミュニティセンターの略）に来る子供はほとんどいない。遊び道具や本もない。

意見）地域の歴史を調べる宿題を出すなど、コミセン利用を勧めて、子供たちが地域に出て行くよう促すことも必要。

意見）（地域の一員としての自分が）教育パートナーとして子供とのふれあいで身近に感じることができる。

意見）（「まなびフェスト」の策定について）まなびフェストの取組の中に、地域の取組も入れられないか。その取組も含めて、コミセンにも張り出し、地域の方にも協力してもらうことができる。

●平成30年度安代小学校運営協議会組織について（本誌最終ページに掲載）

説明）（別紙のとおり）会長は地域の代表として、副会長は保護者の代表としてお願いしたい。

意見）副会長2名ではどうか。教育振興会長も5者をまとめる立場として副会長を務めてほしい。

司会）（出席者賛成を受け）意見を受け入れ、副会長2名とします。



平成29～30年度

コミュニティ・スクールの導入

～パートナーとしての地域と学校を目指して～

八幡平市立安代小学校



花咲く安代

《安代小学校 教育目標》

よく考える子ども

明るく思いやりのある子ども

健康でたくましい子ども

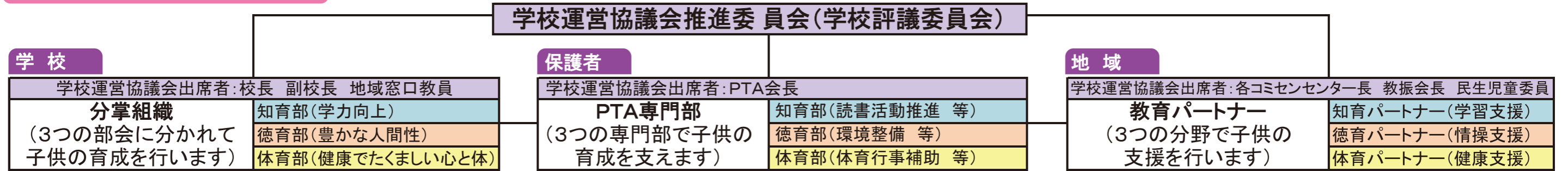


学校✌️保護者✌️地域が連携し 子供たちを育む安代小

「コミュニティ・スクール」(学校運営協議会制度)導入事業 H29年度～H30年度

今年度の主な活動 1 学校運営協議会組織作り 2 「教育パートナー」体制作り 3 先進校視察・CSマイスター講演会 4 保護者意識調査

コミュニティ・スクール組織



コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)とは?

- 1 学校・保護者・地域の代表によって組織されます。
- 2 学校の運営方針を承認します。
- 3 目指す安代小の子供像に向け、意見を出し合います。

なぜ安代小でコミュニティ・スクール?

- 1 開校当初から「教育パートナー」という組織があり、教育活動の支援体制が確立されているからです。
- 2 「目指す子供の姿」を学校、保護者、地域が共有することで、より子供たちの成長が期待できるからです。

保護者意識調査とは?

- 1 各代表だけでなく、保護者の皆さんの意見も反映させます。
- 2 コミュニティ・スクールの成果と課題を、保護者の皆さんの声を参考にしながら確認します。

教育パートナーとは?

- 1 教育活動を支援するボランティアの皆さんです。
- 2 知・徳・体の3グループに分かれ、得意分野で支援します。
- 3 目指す子供の姿の実現に向けて支援します。(詳しくは裏面をご覧ください)

上記に示した導入事業(2年間)を経て、安代小学校は、平成31年度から正式にコミュニティ・スクールの指定を受けます。このことにより、保護者や地域の方々の学校運営と教育活動への参画体制が構築され、安代小学校の子供たちが、どんな子供に育ててほしいかという**共通理念**の下、学校、保護者、地域が**総掛り**で子供たちを育てていくことが可能になります。

子供にとっての魅力

- 学びや体験活動が充実します。
- 地域の担い手としての自覚が高まります。
- 防犯、防災等の安心・安全な生活ができます。

保護者にとっての魅力

- 学校や地域に対する理解が深まります。
- 地域の中で子供たちが育てられているという安心感があります。
- 保護者同士や地域の人々との人間関係が構築できます。



教職員にとっての魅力

- 地域の理解と協力を得た学校運営が実現されます。
- 地域人材を活用した教育活動が充実します。
- 地域の協力により、子供と向き合う時間が確保されます。

地域の方々にとっての魅力

- 経験を生かすことで生きがいや自信につながります。
- 地域の防犯・防災体制の構築ができます。
- 学校が社会的つながり、地域のよりどころとなり、地域ネットワークが形成されます。

安代小学校の子供たちを支える 教育パートナー



安代小学校の子供たちを支える

「教育パートナー」の活動1

◆現在の「教育パートナー」の活動の様子（平成29年度 予定込）

1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「教育パートナー」紹介式(PTA総会時) ○ 4年生「そろばん学習」ゲストティーチャー ○ 「七夕コンサート」開催(音楽家の皆さんをお招きした音楽会) 	
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図書館整備 ○ 読み聞かせ 	
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「スキー教室」指導者 「スキー大会」(三ヶ田杯)ボランティア ○ 読み聞かせ ○ 3年生「そろばん学習」ゲストティーチャー ○ 「教育パートナー」感謝の会(予定) 	
通 年 活 動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 登下校見守り ○ 期末算数復習プリント丸付け(全学年) ○ 「たけのこ教室」学習プリント丸付け 	

※ 現在の「教育パートナー」登録者数29名

◆今後の「教育パートナー」組織と活動内容（◎印は予定）

知育パートナー	徳育パートナー	体育パートナー
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「たけのこ教室」支援 ○ 算数科支援 ○ そろばん学習 ゲストティーチャー ○ 読み聞かせ・図書館整備 ◎ 各種学習支援 <ul style="list-style-type: none"> ・毛筆学習 ・家庭科(裁縫 ミシン等) ・外国語活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 七夕コンサート ◎ 道徳科ゲストティーチャー ◎ 畑作業 ◎ 遠足・見学補助 ◎ ホームページ作成 	<ul style="list-style-type: none"> ○ スキー学習支援 ○ 登下校見守り ◎ 体育学習各種支援 <ul style="list-style-type: none"> ・水泳 ・サッカー ・ダンス 等 ◎ 環境整備 <ul style="list-style-type: none"> ・草刈り 剪定 花壇整備 ・ガラス清掃 等

「教育パートナー」は、安代小学校開校後間もなく始まった、教育活動を支援していただく組織です。コミュニティ・スクールとしてスタートする安代小学校にとって、目指す子供の姿を実現するための中核になる組織と考えています。

保護者、地域の皆様の積極的な参加をお待ちしています。

算数学習支援（学期末の復習プリント丸付け）



たけのこ教室（放課後の子供たちの学習支援）



「教育パートナー」の活動2

そろばん学習 (ゲストティーチャーとして指導)



読み聞かせ・図書館整備



「教育パートナー」の活動3

七夕コンサート支援 (計画 音楽家招致等)



スキー学習支援



地域との連携活動：リンドウ学習



安代小学校の子供たちは、日本一のリンドウ生産地である安代に生まれ育った誇りを胸に、生育から出荷までを学習し、修学旅行で安代リンドウのPR活動をしています。

地域との連携活動：地域と共に



赤十字奉仕団の方と障子張り



2年生畑作り



3年生豆腐作り



曲田先祓い



浅沢子供神楽



ナニヤトヤラ

地域から学校へ 学校から地域へ

八幡平市「地域とともにある学校」づくり推進プラン

八幡平市の次代を担う人づくり

〈学校教育目標〉

豊かな人間性と創造性に富み、社会の変化に主体的に対応し、未来を切り拓いていくことができる心身ともに健全な児童生徒の育成

学校支援活動

土曜日の教育活動

放課後子供教室

地域学校協働活動



いわて型CS

地域とともにある学校

学校運営協議会制度

地域

保護者

子供

教職員

行政

岩手の教育振興運動